

●木津川希少種生育調査管理 除草作業進む 35ヶ所のうち 16カ所 (5124㎡)

2023 年度の上記業務について生育確認作業は伊藤さんたち 6 人組の協力で毎月調査を実行いただけてきました。そして異常な高温が続いてきましたので、11 月度も気になるところの調査をお願いしております。また 35ヶ所 16000㎡の面積の除草作業も冬には全か所の除草となっている所のうち 11 月 9 日現在において 16カ所 5124㎡を刈り取っていただきました。約 1/3 の除草作業が出来上がったこととなります。昨年度と比較すると抜群のスピードで消化されていることとなります。12 月の初旬にはこの作業のうち最も人手が必要な刈草の収集作業を同志社大学サッカー部の有志による数十人がお手伝いにお越しを予定してくれているので、それに間に合わさなければと皆さんが張り切っていただいているのです。同志社サッカー部には、これまでの 2 年間は里山農園の丸山の草刈りや白土山への周遊通路の実現などに力をお借りしてきました。今年は木津川希少種生育のための作業 35ヶ所の刈草集約を引き受けていただき、社会的貢献をお願いすることにいたしました。マネージャーの川田花さんのお話では大切な綺麗な花を保存する作業は大歓迎ですと、返答をいただいています。これまでは里山の会の内部の作業でしたが、2023 年度は社会的に必要な取り組みを引き受けていただくことになりました。出来ることならこれからはこうした社会的に重要なお手伝いをお願いできればと思っています。

●竹蛇籠製作講習会 11 月 3・4・5・日 (3 日間) 28 人 (小人 4 名参加含む) で完成させる



京田辺市民祭りの出店には出展料の納付が必要になりましたので、財政的に弱小団体である里山の会は参加を見送りました。この期間、竹蛇籠の製作講習会を実行しました。2015 年度に設置した竹蛇籠が風雪や増水に耐えて役割を果たしてくれましたが、老朽化による補修の必要な時期にきています。中聖牛の取組みがひと段落したこの機会に蛇籠を設置することにして製作講習会を開催しました。10 月 8、9 日に京都府植物園で植物園観察に来た皆さんと力を合わせて試作した底部 7 本を活用して 6m の長さに改良しました。当初継ぎ足しのための作業は簡単であると誰もが考えましたが、実際に行ってみると思わぬ問題に出くわして苦労が続きました。特に骨の部分の竹の継ぎ足しは 13 本を継ぎ足すのですから、一か所ではなく少なくとも 1 本に 2 カ所となつての合計 26 カ所なので苦労しました。

用意した針金は 10 番線でペンチでの作業となりましたので、時間がものすごくかかりました。今回の反省として針金を扱いやすい太さに変えること、そして締め付ける道具を改良することが必要だとの意見が沢山ありました。設置場所決定のために木津川出張所との調整を図り 2 月ごろには石詰め作業を行いたいと予定しています。今回 3 日間で参加いただいたのは、太田、森島、有田、播川さん達と島津にお勤めの杉本さんでした。特に杉本さんは勤務先の同僚お二人(梅原・蓼沼さん)を誘ってご参加いただきました。ありがとうございました。

●週刊ニュース 1000 号発行記念ボールペン全会員に発送完了する

全会員様に 1000 号記念としてお届けしましたボールペンはいかがでしたでしょうか。粗品や差出人名を粗品箱に張り付けるのに手間がかかりました、やっと郵送に漕ぎつけることが出来ました。多くの皆さんから歓迎のお言葉をたくさん頂戴し、嬉しくなりました。これからも力を合わせ「自然を大切にする仲間の輪を大きくする」のスローガンのもとに、活動ニュースを全会員に届けて行こうと決意をして



います。行き届かないところも沢山ありますが、精一杯の努力を積み重ねますのでご協力をお願い致します。

●里山農園の生き物写真集完成する



里山農園での昆虫観察会などで生き物を数多く確認撮影し、集約することができました。そして京都府のレッドデータ 2015 度版で照合してみますと、準絶滅種、準絶滅危惧種、要注目種が明らかになりました。まだまだ詳しく調べるとさらに明らかにあるだろうと予想されます。まずは第1段階の調査としてまとめてみました。印刷冊数が200部として発行します。12月16日(予定)の昆虫観察会にご参加者には無料で提供いたします。希望者には活動協力金200円でご用意いたします。 A5:27 頁

●アユの仔魚の流下調査への参加を呼びかけ

産卵後4～5日で生まれたアユの仔魚が(大阪湾)を目指し流下します。

2023年淀川三川合流点 アユ流下仔魚調査実施要領

実施日時: 第1回2023年11月11日(土) 17:00～23:00 **集合場所:** さくらであい館

第2回2023年11月18日(土) 17:00～23:00 **集合場所:** さくらであい館

第3回2023年11月25日(土) 17:00～23:00 **集合場所:** さくらであい館

集合時刻: 17:00 **調査開始:** 17:45

調査時間: 18,19,20,21,22時前後に計5回網入れを実施する

調査終了: 22:30 **後片付け後解散時刻:** 23:00 (仔魚の流下状況によって遅れる可能性あり)

必要なもの: 雨天決行のため、雨具は各自用意のこと 夕食と飲み物は各自でをご持参ください

防寒対策も各自でお願いします

参加申込み: 活かす会事務局 E-mail: ikasukai.all@gmail.com に参加人数と氏名をお知らせください

産卵した仔鮎が大阪湾へ下って行くのを御幸橋で数十年前から京の川の恵みを生かす会や、大阪府内や京都内の漁業組合の皆さんがこの時期、この瞬間に夜を徹して調査を実施してこられました。その結果は三川が合流している木津川や宇治川や桂川、大阪の毛馬水門で調べた結果、調査結果では仔魚(稚)の80%が木津川産だとの結果が出ています。アユの産卵場所としては、木津川が最も優れているのではないのでしょうか。

この都度こうした取り組みを指導してこられた竹門康弘先生が山城地域に引っ越して来られ、取組の案内を連絡いただきましたのでご案内をさせて頂きました。夜遅くまでの調査になりますが、食事をしながら楽しくできますのでご家族連れでご参加ください。なお、過去の調査では仔魚を一番多く発見した人はいつも小学生ないし中学生でした。目が若いからです。老眼の人は若い人に敵いません。ぜひ小中学生のご家族の皆さんのご参加をお願いします。

●竹ペン製作用竹切丸鋸刃購入(柳本金物店:井手町29,400円)

木下さんが中心になって製作を進めていただけていますが、素材の竹切に苦勞して草内倉庫の電動ノコギリを使用されてきました。そのノコギリの刃は木材用なので、切り口が綺麗にならず、竹切用のノコギリ刃があれば、とのことで柳本金物店に相談をした結果、協力が得られて購入しましたが、最初と最後の切り落としのところで、ささくれたって難しいことが分かりました。まだまだ改善の余地があるようです。しかし長さを揃える点では辺りを工夫して二人で作業を行えば、程度の良い素材が確保できる見通しが立ちました。これからの改善点はサウンドペーパーでの工夫と穴あけドリルの改善を進めることになります。